

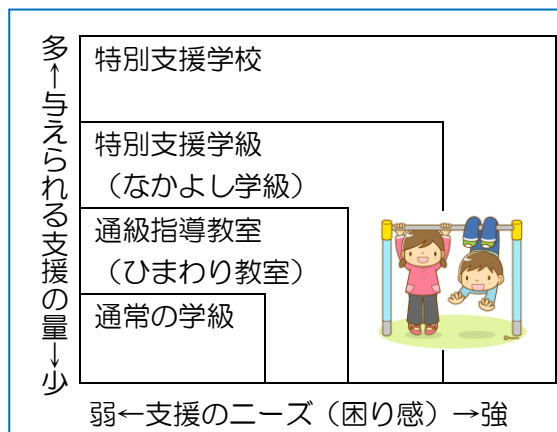
# キラリ！築山っ子

本島

## 教育支援委員会に向けて

前回からかなり間が空きました。内容は前回とほぼ同じになりますが、大事な時期が近づいていますので、改めてお知らせします。

通常学級→特別支援学級、特別支援学級→通常学級、特別支援学級内での学級種の変更、中学校での特別支援学級への入級等について検討される「玉名市教育支援委員会」が12月に開催されます。そこに向けての資料提出のめ切が、例年10月末になっています。「学びの場の変更」を考えていらっしゃるのところにとっては、意外と短い期間で色々とすすめないといけない時期です。



築山小学校には、いわゆる「通常の学級」の他、「特別支援学級」(通称：なかよし学級)、通級指導教室があります。特別支援学級は大きく2つのタイプに分かれていて、「自分のペースに合わせてゆっくり学びながら力をつける」学級と、「刺激の少ない分かりやすい環境の中で、自分に合った学び方で学習する」学級があります。通級指導教室は、基本的には通常の学級で学びながら、学習面や生活面で困っている部分を改善あるいは克服するための力をつける場所です。

左の図で分かるように、子どもたちの困り感が高まるにつれて、それに応じて支援の場を変えることで、より専門的な支援を受けることができるようになっていきます。もちろん、通常の学級でも「UDの視点」「特別支援教育の視点」をもった環境設営や授業の工夫が進められています。

これら学びの場の選択は、保護者の皆さんや担任の先生の気づき、本人の訴えやサインからスタートします。学びの場の変更については「柔軟に見直しができます」と言われますが、「明日から変えたいです。」はできません。一定の手続きを踏む必要がありますので、詳しく説明します。

### 【学びの場の変更(通常学級→特別支援学級・特別支援学級→通常学級など)をした方がよいと感じたら…】

- ①まずは担任の先生やコーディネーターに相談してみてください。おうちや学校の様子などを話し合って、現状で工夫できることはないか、学びの場を変更した方がよいのか、今後どうすればいいか、検討します。
- ②専門機関にも相談してみるのもいいです。相談員やSSW、特別支援学校での教育相談、医療機関での発達検査など、客観的な視点からアドバイスをもらいます。※今後に進むためには発達検査など医療機関での受診が必要です。
- ③申請の時期は6月と10月です。その時期までにまずは本人の気持ちの確認し、保護者(家族)の気持ちを揃えておくことが大切です。保護者の気持ちだけで進めてしまうと、結果的に本人

の意欲につながらず、効果があがりません。「自分はこの学び方で頑張る！」という気持ちになれるよう、関わる全員が考え方を揃えておくことが大切です。また、転籍を考えている学級（特別支援学級の子なら、通常学級）での**お試し期間を設けることも大切です**。本人がその学級の中で1～2週間、その学級の子どもたちと同じように生活してみて、気持ちよく学習活動に取り組むことができるか、体験してみましょう。その期間中は保護者の皆さんもぜひ「こっそり」見学にいらしてください。

④お試し期間を過ごして、納得できたら教育支援委員会への申請手続きを進めます。

※申請の際は①保護者の申請書、②医師の診断書や発達検査の結果、療育手帳のコピー（なかよし1～2組）が必要です。準備が間に合わない場合はご相談ください。

④申請をもとに専門家による教育支援委員会が開かれ、学びの場の変更について検討されます。現在、玉名市に限らず特別支援学級在籍児童が増加していて、入級についてはかなり細かく検討されます。

⑤教育支援委員会の結果が通知されます。転籍の時期については申請の段階で決めておきます。基本的には新年度の4月からになります。緊急性がある場合は別に相談することになります。

★申請と同時進行で進めたいこと★

○ご存じの方も多いと思いますが、発達に関わる病院の受診は、予約がとても難しいです。同時進行というよりできるだけ早めに進めておく必要があります。

○特別支援学級の種別によっては「療育手帳」という福祉サービスにつながる手帳の交付を受けることができます。こちらも申請から面接や検査、交付までかなり時間がかかります。

○ペアレント・トレーニングを勉強してみる。子どもたちの中には発達の凸凹や発達障がいの特性から、親にとって「関わりにくさ」が感じられ、「うまく関われない…」「子どもが言うことを聞かない…」など、保護者自身の無力感や自己嫌悪など、負の連鎖に陥ることがあるようです。ペアレント・トレーニングは、子どもにとっても保護者にとっても望ましい関わり方を学ぶものです。玉名市でも取り組まれていますし、学校から案内している「子育て学習会」もそのひとつです。同じ悩みを持つ保護者同士で話し合うだけでも、悩みの解消につながる場合もあるようです。

※通級指導教室の利用の場合は教育支援委員会への申請は必要ありませんが、校内で十分な検討が必要です。利用を希望されるところは担任またはコーディネーターまでお知らせください

## 【子育て学習会のご案内】

今年度後期の子育て学習会の案内を配付しています。基本的な内容は保護者向けの応用行動分析を学ぶ「ペアレント・トレーニング」ですが、保護者の皆さん同士でのおしゃべりや情報交換の場にもなっています。

我が子の発達や行動について悩んでいらっしゃる保護者の皆さんが集まって話をすることで、他の参加者の体験談が役に立ったり、自分の失敗体験が他の保護者さんにとっては素敵な情報になったりもします。同じ悩みを持つ者同士ということで、気兼ねなく話ができるようです。お子さん同伴については、託児所はありませんが、会場の一角で本を読んだりゲームをしたりしながら過ごしたり、小さなお子さんはお母さんの横に座って過ごしたりしています。

興味のある方はぜひ、担当の本島までご相談ください。

